

# ひとりから

子ども会情報紙『ひとりから』

発行日/2023年10月1日

発行/真宗大谷派(東本願寺) 青少幼年センター  
〒600-8164 京都市下京区藤訪町通六条下る上柳町199  
TEL: 075-354-3440 FAX: 075-371-6171  
E-mail: oyc@higashihonganji.or.jp



◆ 子どものつどいで  
かけられた打敷



◆ キャラクター寸劇



◆ 草庵ブース

◆ ◆ ◆  
子どものつどい in 東本願寺  
(2023年5月5日開催)

## 受け継がれたバトン

青少幼年センター部長 <sup>きむら</sup> 木村 <sup>りか</sup> 理佳

### 蓮ちゃん通信 その①



2023年11月23日(木・祝)

## 子ども報恩講のつどい を開催します!

子どもたちが、親鸞聖人や真宗本廟に触れる縁となること、また、家族そろって報恩講にお参りしていただくことを願い開催します。本年度で12回目を迎えます。御影堂でのお勤めやお話、またお楽しみの時間もあります!

●10月2日より申込開始

申込等詳細は  
青少幼年センターへ  
ご連絡ください。  
tel.075-354-3440



皐月晴れの5月5日、真宗本廟において「子どものつどい in 東本願寺」、初夏を感じる6月24・25日、上越妙高において「池の平青少幼年センター50周年記念式典」を開催しました。

このつどいで、子どもたちのあふれんばかりの笑顔とお念仏の声が真宗本廟、池の平青少幼年センターにこだましました。

そして、つどいに来てくれた子どもたちからは、「楽しかった」「また来たい」「今度はいつあるの」そんな声があちらこちらで。声を聞く嬉しさ、楽しさ、大切さ。

この日を待っていてくれたんだな。コロナ下の中、このつどいを開催して本当によかった。これまで大切にされてきたつどいというバトン。

バトンを受け継ぎ受け渡す。次のつどいのバトンはすでに渡された。

そのバトンには、今を生きる私たちが、子どもたちの声を聞き、子どもたちと共に考え、共に歩いていくことを何よりも大切にすべきという願いがかけられている。

このバトンは、決して1本でなく、8600本のバトン。その願いを「わたしからあなた」につないでいきたい。

そのためには「わたし」から歩みだす。

宗祖ご誕生850年をご縁としてのはじめの一步として。

# こんにちはは

前大谷専修学院院长 狐野 秀存

皆さんこんにちは。(※両手の人差し指を向かい合わせてお互いにお辞儀をします)

今私がしましたのは、手でお話をする「手話」というものです。「こんにちは」というあいさつを、両方の指を立てて、そして、あなたと私がお互いにペコンと「こんにちは」とあいさつをするわけです。皆さんともう一度してみてください。指を立ててくださったらい。そして、あなたと私がペコンとおじぎをします。「こんにちは」。

実はですね、手話の言い方だけども、私の知っているのはこれだけなんです。「こんにちは」というあいさつが一番大切なあとで思いついて、昨日YouTube動画をみて習ってきました。

## 仏さまへのあいさつ

「こんにちは」というあいさつは、仏さまへのあいさつなんです。仏さま「こんにちは」は「あんなにすばらしいです。昔インドで阿難(あなん)という人がお釈迦さまに出会って、お釈迦さまに、「あなたは仏さまですね」と喜びの声をかけたときに、五回繰り返して「こんにちは」「こんにちは」「こんにちは」「こんにちは」「こんにちは」



「こんにちは」と呼びかけているわけなんです。ですから「こんにちは」というあいさつの言葉はほとけさまへの言葉というんですね。

私たちもずっと「こんにちは」ということを言ってきました。今日お家の人と来られた、あるいはお友だちと来られた人もいらっしやいます。皆さんが今日ここで、親鸞聖人(しんらん)のもとで出会ったという事は、あなた方が生まれる前に、あなたのお母さんとお父さんが「こんにちは」と言ってお出たから、みなさんが今ここにいるわけですね。そしてそのお母さんとお父さんもまた、お母さんのお母さんとお父さんが、お父さんのお母さんとお父さんが、「こんにちは」と言ってお出たから、お母さんお父さんがいらっし

## 子どもたちと聞く法話

やるわけです。だからまたそのお母さんのお母さん、お母さんとお父さんが、お母さんのお父さん、お母さんとお父さんが、お父さんのお母さんの、お母さんとお父さんが……。わからなくなるほど、たくさんのお母さんとお父さんが「こんにちは」と言ってきました。

さあ、いつのころからか、量り知れない昔むかしに「こんにちは」「こんにちは」と声をかけて出会ったから、ずっとずっとのちががながながと、そして今日のあなた方が今ここにいるというんですね。

## 「こんにちは」のいのちの中で

そつうたうたさんたうさんのお母さんお父さんが、「こんにちは」「こんにちは」と互いに声をかけあつてきた。そつうたうたの「こんにちは」ということを、「阿彌陀(あみだ)さま」「アミダ」というインドの言葉で言い表してきたんです。ですから、みなさん方は自分では気がついていないかもしれないけれど、「こんにちは」のいのちがすつとつながってきて、そして今日、ここで初めて出会った人もいます。そして、実は「こんにちは」のいのちの中で、すでに何度も何度も多くの人たちと出会ってきたということなんです。そして今日、こうして親鸞聖人の報恩講という「こんにちは」の中で、あらため

て出会ったという事です。

もう一度やってみましょうか。みんな「こんにちは」のいのちをつなぐ、今日ここに出会ったんだとついでに、直接、親鸞聖人にあいさつをしてみよう。はい、よろしいですか、もう一度指を立ててくださいな。で、親鸞聖人にペコンとおじぎをして、「こんにちは」と元気な声で言ってみましょう。「こんにちは」。

はい、ありがとうございます。お家に帰ったら、お母さんとお父さんに、「お母さんとお父さんはいっ、こんにちはを言ったんですか」と聞いてみたらいいかもしれません。どうもありがとうございます。また会いましょう。

## 蓮ちゃん通信 その②

### 『真宗児童聖典』を 発刊しました!

●『真宗児童聖典』  
『仏説無量寿経』『仏説観無量寿経』『仏説阿彌陀経』『正信偈』のころを伝えることを願いに1924(大正13)年から1926(大正15)年にかけて「児童と宗教」(真宗大谷派社会課機関誌)に連載された「真宗児童聖典私考」をもとに、現代の言葉に分かりやすく語りなおし書籍化しました。

価格:1,100円(税込) 寺院割適用価格:880円(税込)

ご注文は東本願寺出版へ

tel.075-371-9189 fax.075-371-9211





# しんぶんして あそぼう!

ひとりからはじめる  
イベントレシピ

①→②→③の  
順で遊ぶと  
お片付けまで  
できるよ!

事前に③で使う  
新聞紙ゴミ箱を  
つくっておこう!

用意するもの：新聞紙（ひとり1枚）

## ①文字さがし!

新聞紙の中の文字をさがそう。

Point

小さな子がいる時は簡単なひらがなが  
オススメ! 例えば「へ」や「い」など。

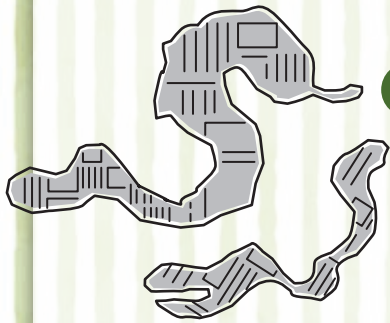


## ②長いへびをつくろう!

①で使った新聞紙をちぎって、長いへびをつくってみよう。

Point

ちぎり方に、それぞれの性格が表れるので、  
つくったあとにみんなで見せ合いっこするとおもしろいよ!



## ③ボール投げ! シュート!

①②で使った新聞紙を丸めてボールにしよう!  
新聞紙ゴミ箱にシュート!

Point

小さな子は近くから、  
大きな子は遠くから投げても  
チーム戦にしても楽しいよ。



新聞をとっていないおうちも多くなってきています。  
新聞紙と触れ合う機会のひとつにオススメです。

蓮ちゃん通信 その③

ほとけの子リーフレットNo.4  
「親鸞聖人一道を求めて」  
を発行しました!



慶讃事業である「ほとけの子リーフレット」改訂第4弾として、新たに「親鸞聖人  
一道を求めて」を発行しました。親鸞聖人は前回の「出家」に続いて2作目。  
今回は親鸞聖人が比叡山を下り、法然上人に出会うまでの悩みや決意を視点に  
書かれています。ぜひ、子ども会や法務の場で活用してください。  
青少年センターまたは最寄りの教務所でお求めいただけます。(無償)



# 「ひとりから」はじめる仏事

子どもたちに  
伝えてみませんか？

※大正時代、本山社会課から『児童と宗教』という児童教化の指導者のための雑誌が発刊されていました。そこには、先輩方が伝えてくださった遺産がたくさん。このコーナーでは、そこに連載されていた「教案」から、私たちの生活の中の仏事に関するものをサガエさんがリライトしてお届けします!!

※本山社会課…社会と寺院をつなぐべく初めて派内に設置された宗務組織。宗派の青少年教化を担っていた。

## しょうみょう お称名(念仏)

なむあみだぶつ  
南無阿弥陀仏

親は、わが子から「お父さん」「お母さん」と呼ばれたいものです。親がわが子から「お父さん」「お母さん」と呼ばれたいように、み仏さまは「わが名、南無阿弥陀仏」と呼んでいただきたいと願っていらっしゃいます。

あなたは、どんな時でも、また、どこでも誰にはばかることなく、み仏さまのみ名を呼んでいいのです。み仏さまは、「いつ、い

かなるときも」あなたを見守っていらっしゃいます。み仏さまのみ名をお呼びすれば、どのようなときでも、み仏さまはあなたの傍にいらっしゃいます。

わたしたちは、すてきな称名念仏「南無阿弥陀仏」の智慧をいただいたのですから、あなたの大切な「宝もの」としてください。感謝・うれしいときの称名念仏もいいです。また、悲しいときの称名念仏も大切です。

出典：幡谷淳信「二月教案」称名  
『児童と宗教』3巻2号より、一部抜粋、現代語訳  
リライト：“サガエさん”こと佐賀枝夏文

ボクはこんな風に話してみました



さがえ なつみ  
佐賀枝 夏文  
(大谷大学名誉教授)

サガエさんは、いつもあれが欲しい、これも欲しいと「何か」を探してきました。本当に出会えてよかったと思うこと、それはお念仏に出会えたことです。お念仏は、サガエさんの大切な「宝もの」なのです。

## コーナーの活用例

- ④ 本文「お称名(念仏)」をそのまま覚えて話す。または、ご自身の表現で話す。
  - ④ プリントして配布し、朗読する。
- 上記以外にもその場に合わせたご活用ください!

本文のPDFデータは、青少年センターホームページ「子どもとあそぼう」のコーナーからダウンロードいただけます。

◎子どもたちが集い、笑顔溢れる光景がようやく戻ってきました。歓声、お勤めの声、お念仏の声…一人ひとりの表情とともに、胸に染み入ります。私たち大人はこれまでも、その声に、その姿に促され、仏の前に座することができていたのだ、ということを感じます。大きな法要を終えた今、そのような子どもたちの日々を重ねていくことを大切にしていきたいと思っています。

(編集長 池嶋方子)

◎暑い夏が終わった。新型コロナウイルス感染症が5類になったことを受け、今年の夏は昨年縮小や中止せざるを得なかった子ども会や様々な行事が通常に戻りつつある。この8月、「同朋ジュニア大会」は4年ぶりに3泊4日で開催し、全国から多くの子どもたちが真宗本願に集まってくれた。講師のお話の「相手が悪い」と指をさす、その下の指は自分に向いて「悪い」という言葉。誰でもなく、私のことだと気づかされた大会であった。連ちゃん通信にも掲載していますが今年も11月23日に子ども報恩講のついでを開催します。ぜひ真宗本願まで足を運びください。

(青少年センター 主事 萩村一寿)

編集後記



真宗大谷派の青少年教化の情報をお届けします。

<https://www.facebook.com/oyc.hitorikara/>

※facebookの個人アカウントをお持ちでなくてもご覧いただけます。

●真宗大谷派(東本願寺)青少年センター TEL.075-354-3440



青少年センターホームページ

東本願寺 青少年センター

検索

ぜひ、ご覧ください!!